

令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申 請 者	団体名		岬町商工会	
	代表者職・氏名		会長 竹内 邦博	
	所在地		〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日746-748	
	担 当 者	職・氏名	事務局長（経営指導員） 阪本 敏郎	
		連 絡 先	TEL（直通）：	072-492-3311
			Fax：	072-492-2389
E-mail：			misakis@skyblue.ocn.ne.jp	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		①昭和41年5月3日 4名（経営指導員3名）（令和4年3月31日現在） 452（平成28年経済センサスー活動調査による） 311（平成28年経済センサスー活動調査による） 245（54.20%） 令和4年3月31日現在 ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
□主な事業概要（定款記載事項等）				
①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑤展示会共催会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 ⑧商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑨輸出品の原産地証明を行うこと。 ⑩商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑪行政庁等の諮問に応じて答申すること。 ⑫社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑬商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 ⑭行政庁からの委託を受けた事務を行うこと。 ⑮前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。				

<p>(1) 事業の目標</p> <p>経営相談支援事業は、経験の浅い経営指導員が大部分を占めるので個々の相談事案について、経験の浅い経営指導員と経験のある経営指導員が共に協力して相談事業所の課題解決に取り組むために次のように努めた。</p> <p>①記帳支援については昨年の消費税改正にともない、昨年支援しきれなかった企業への支援と、昨年支援した企業がほとんど対応できていなかった「区分経理」・「インボイス制度への対応策」を支援した。</p> <p>②融資の支援については、日本政策金融公庫の「コロナ特別貸付」・「コロナマル経」を支援した。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p> <p>経営相談支援事業については、当商工会において、経験の浅い経営指導員が多数を占めるため、記帳・経営・金融・労務・法務等の分野にわたる基礎知識やスキル向上を図る必要があったため、経験のある経営指導員がノウハウ等を共有して経営指導員一人一人の資質を向上させるよう努めた。</p> <p>専門相談支援事業は、税務支援及び法律支援・労務支援を実施し、相談者と同席し、税理士・弁護士・社会保険労務士と相談者とのコーディネーター役として、事業継続のための助言をおこないながら、税制及び法的な理解・働き方改革等の問題の解決を行った。</p> <p>地域活性化事業については、大阪府・岬町・阪南ブロック4商工会との連携のもと、担当経営指導員が中心となって巡回・電話及び窓口対応を通じて該当する事業所に周知し、事業の参加を促し、事業に参加する上での支援や方策を提案しながら事業を推進した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p> <p>経営相談支援事業は、小規模事業者のニーズを把握し、その問題点の解決のために様々な情報提供や提案をおこない、相談者の満足度を少しでも高めるよう努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により資金繰りが苦しくなっている事業者には「コロナ特別貸付」等の融資を商工会を通じて利用してもらうことにより、運転資金不足等の資金問題解決の一助ともなった。</p> <p>地域活性化事業では、岬町外の消費者及び観光客の岬町内への誘導を図るため事業に参加した岬町内の小規模事業者「新規顧客の獲得や売上増加のために自社及び商品等のPRに力を入れていかねばならない」等の意識の変化を与えることができた。管内の小規模事業所には、様々な販路拡大の事業機会を提供することで、地域活性化への一助として機能することができた。その結果、小規模事業者については、積極的な姿勢が見られるようになってきたと感じる。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p> <p>経営相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業を利用した事業所においては、問題解決への情報提供、支援等を実施する唯一の機関との評価を得るようになってきた。</p> <p>イベント実施時の新規客を自店へのリピーター客へと導く取り組みをする事業者が徐々に増えてはいるが、まだまだ少ないため、もっと増やす方策を考える必要がある。</p> <p>令和2年3月31日限りで廃園となった「みさき公園」の影響を受けた業者については今後も引き続き、その対策も必要となっている。新型コロナウイルス感染症の影響で苦しむ飲食店および飲食店への納入業者等の売上が激減し、経営困難な状況であるため廃業しないような支援を行っていかねばならない。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が激減して苦境に立たされている飲食店・小売店等が廃業しないように支援を続けていく。また、インボイス制度へのため対応など、社会制度や情勢の変化に応じた支援に取り組んでいく。</p>

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>経営相談支援事業は、経験の浅い経営指導員が大部分を占めるので個々の相談事案について、経験の浅い経営指導員と経験のある経営指導員が共に協力して相談事業所の課題解決に取り組むために次のように努めた。</p> <p>①記帳支援については昨年の消費税改正にともない、昨年支援しきれなかった企業の支援と、昨年支援した企業がほとんど対応できていなかった「区分経理」・「インボイス制度への対応策」を支援した。</p> <p>②融資の支援については、日本政策金融公庫の「コロナ特別貸付」・「コロナマル経」の支援をした。</p> <p>③給付金等の相談については可能な限り対応し、特に要件の説明には力を入れた。</p> <p>代表事例としては、サービス事業者が設備資金でマル経融資だけでは困難であったため、他の金融機関と併せて借入し、双方で設備資金の借入に決定した事例があった。今後とも経営指導員が事業者の立場にたった考え方・対応を継続することにより、事業者の方々が商工会への信頼・信用をより深くもっていただける。また、そうすることで、経営指導員も各種支援・サービスの向上に努めることができ、その結果、地域商工業の振興・発展に繋がる。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	205	215	104.9%	4	
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	0	0.0%	3	
金融支援（紹介型）	支援数	10	7	70.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	25	8	32.0%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	10	2	20.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	7	0	0.0%	3	
記帳支援	事業所	59	146	247.5%	4	
労務支援	支援数	51	33	64.7%	4	
人材育成計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	3	
マーケティング力向上支援	事業所	2	0	0.0%	3	
販路開拓支援	支援数	20	3	15.0%	4	
事業計画作成支援	支援数	10	6	60.0%	4	
創業支援	事業所	7	3	42.9%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%	3	
コスト削減計画作成支援	事業所	5	3	60.0%	4	
財務分析支援	事業所	26	51	196.2%	4	
5S支援	事業所	2	0	0.0%	3	
IT化支援	事業所	5	0	0.0%	3	
債権保全計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	3	
事業承継支援	事業所	3	0	0.0%	3	
災害時対応支援	事業所	0	0			
フォローアップ支援	事業所	41	0	0.0%	3	
結果報告	事業所	205	215	104.9%	4	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>2019年改正された消費税（区分記載請求書保存方式・適格請求書等保存方式〔インボイス方式〕等）法に対応し、さらに、事業継続・承継等にかかる税務相談に対応するため、税理士による税務個別相談会を計画どおり3回、弁護士による法律個別相談会を3回開催した。また、今年度は働き方改革及びコロナ関係の雇用継続の助成金にも対応するため社会保険労務士による労務相談も2回実施した。</p> <p>これにより、商工業等の相談者が抱えていた諸問題の解決に寄与した。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	4
法律相談	継続	相談件数	4	6	150.0%	4
労務相談	継続	相談件数	6	4	66.7%	4

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>広域連携事業は、①おおさか泉南まるごと商店街事業、②南泉州地域異業種ビジネス交流会事業を実施した。</p> <p>①「おおさか泉南まるごと商店街事業」については、商店街の形成も少なく商店が点在している泉南地域のデメリットを逆に利用してスタンプラリー形式を取り入れ、消費者に対し「商店めぐり」という点を強くアピールし、ゲーム感覚で参加してもらえよう実施した。</p> <p>さらに、「商店巡り」を大勢の消費者に認知してもらえようように、チラシに地図を入れてカラー刷りにし、参加店には参加店証の掲示と「のぼり旗」を立てて実施していただき、消費者アンケートも実施した。</p> <p>本事業が当初計画の185社より11社多い196社の参加となり、消費者からも開催日時との問い合わせ等もあった。地域住民にも浸透してきたため、企業においても本事業に参加することが少しでも販路開拓につながるという意識ができてきていると感じる。また、昨年度より100円商品だけでなく500円、1,000円商品でも参加できるようにしたため、参加事業所も増えてきている。</p> <p>②「南泉州地域異業種ビジネス交流会事業」は、岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の連携により実施し、第1部では「外国人技能実習制度の正しい知識を学ぶためのセミナー」、セミナー終了後に事業承継について事務局より説明した。意見交換会はコロナ禍で実施が難しかったため、第2部では名刺交換等ができる交流会を実施した。これにより、新たなビジネスチャンスへの認識も深め、参加事業所が自社の商品・サービス等を積極的にアピールする場となった。また、今回も前年に続き事業承継をテーマに取り入れた。ディスカッションはできずチラシでの説明のみであったが、アンケートで「事業承継が必要である」との回答が17社あったこともあり、事業承継を積極的に増やしていく第一歩となったと考える。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	おおさか泉南まるごと商店街事業	185	196	105.9%	63.3	店舗のPRができた・売上が増加した・新規顧客を獲得できた・新商品または新サービスを開発したという企業数	100	113	113.0%	4
	南泉州地域異業種ビジネス交流会事業	60	52	86.7%	90.4	自社のPRができた・新たな取り組みができた、事業間連携ができた、販路開拓ができたという企業数	48	46	95.8%	4

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

岬町商工会

事業名		おおさか泉南まるごと商店街事業						
想定する実施期間		H24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>おおさか泉南地域は商店街が少なく、その中でも岬町・阪南市・泉南市・熊取町の泉南4地域の4商工会管内は特に商店街が少ない。</p> <p>商業集積は大型・中型のスーパーを核に数ヶ所存在しますが、ほとんどの商店は地域の中で散在しているため、大型スーパーやコンビニエンスストアに対抗できず集客力に乏しいのが現状である。</p> <p>さらに、岬町は平成29年4月に第二阪和国道の淡輪から和歌山市間が全面開通し、岬町内市街地を縦断する旧26号線の車両通行量が激減した。</p> <p>その結果、ただの通過点となってしまった岬町の経済活性化対策として物産展等の販路開拓支援をしているが、小規模零細企業の多い泉南地域では人員・費用等の問題で物産展にすら出店できない事業所が多く存在する。</p> <p>これらの問題を打破し4地域の小規模零細企業を支援するため、おおさか泉南地域の4地域（岬町・阪南市・泉南市・熊取町）で、商店街が形成されていなくても実施可能な「おおさか泉南まるごと商店街」事業を実施し、物産展に出店できない小規模零細企業を積極的に支援することを目的とし、最終的に商店街が形成されてなく店舗が点在している地域の見本となれるような「おおさか泉南まるごと商店街」事業になることを目指した。</p>						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>泉南地域4商工会館内の事業所 (岬町452・阪南市1,506・泉南市2,128・熊取町1,239) 合計5,325事業所を対象とします。</p>						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①4商工会の担当者会議を2回開催した。(令和3年8月と10月)</p> <p>②8月～9月にかけて4商工会の経営指導員が、まるごと商店めぐりの趣旨を説明し参加店募集を行うために巡回活動を実施した。</p> <p>③「おおさか泉南まるごと商店めぐり」を次のとおり実施した。 実施日時：令和3年12月17日(金)、12月18日(土)の2日間 開催場所：各参加店舗 参加事業者数：岬町53社、阪南市56社、泉南市49社、熊取町38社 合計196社</p> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各参加店には「参加店証」および「のぼり旗」を設置してもらい「参加店」が一目でわかるように工夫した。また、令和3年度も「参加店証」をお客様が遠くから見ても目立つデザインと色に変更した。 ●集客力を高めるため、スタンプラリーを実施した。 ●100円商品以外の500円商品と1,000円商品でも参加できるように令和2年度から変更したので、参加店募集時に粘り強く説明した結果、参加店(支援企業数)は令和2年度より更に7社多くなった。その結果として、参加店の参加商品数も増えた。 ●お客様が行きたい店舗の場所をわかりやすくするため、地図にQRコードを付け、QRコードを読み込むことでインターネットで場所を調べることができるようにした。 <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携							
②広域連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員で組織した担当者会議を開催し、開催日・参加店募集に関すること・PR方法ならびに詳細事項を協議しながら広域連携で実施した。							
③市町村連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4市町と連携をしながら進めていき、4市町には後援ならびに広報・HP等でのPRを実施していただき、地域の商業を盛り上げる事業として更に積極的に商業活性化に取り組んでいただいた。							
④相談相乗	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員が、参加店募集のための各店の販路開拓推進ならびに啓発をしながら、100円商店街の趣旨から100円商品の作り方から見せ方等まで、メイン商品へとお客様を誘導する方法から新規顧客開拓に至るまでを支援した。							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	185	総支援企業数(実績)	196	支援実績率	105.9%	満足率	63.3%

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①PR用新聞折り込みチラシは、参加各企業名並びに100円、500円、1,000円商品の内容を掲載し、令和3年度は令和2年度同様に、お買い得商品も掲載し、チラシ1枚でお客様が商店巡りができるように各地域の商店の地図も掲載いたしました。令和3年度は、地図にQRコードも掲載し、スマートフォンがあればGoogleマップを表示して行けるようにした。</p> <p>②店舗に居ながらも販路開拓できる「まるごと商店めぐり」に参加することにより、商売の基本は、「消費者に店舗の存在を認識し、店舗に買いにきていただくこと」とであるという基本理念のもと、経営指導員が巡回活動を行った結果、当初計画の支援対象企業数185社より11社多い196社に参加していただいた。</p> <p>③各市町による広報及びカラーチラシによるPR活動等により、各地域の消費者に浸透してきた結果、「まるごと商店めぐり」に参加することにより、自店の販路開拓及びPRができたと思った参加店は95社だった。</p> <p>④参加企業からの事後アンケートにおいても、延べ来店者数は1日目5,132人、2日目5,414人(1社来店者平均1日目26人、2日目27人)との回答が寄せられた。</p> <p>また、出店動機(複数回答)は企業のPR 150社、自社商品等のPR 48社、売上の増加37社、新規顧客の開拓 61社、その他8社という結果であった。出店の効果についても、「予想以上にあった」2社、「あった」25社、「少しあった」86社、の計113社 58%を占めることとなった。参加企業における今後の販路拡大のための施策(複数回答)としては、「企業のPR」141社、「自社商品等のPR」72社、「DM・チラシの発送」28社、「新商品の開発」21社、「イベントへの出店・自社でのイベント開催」35社、「商品パッケージ等のデザイン開発」3社、「企業連携」14社、「その他」11社であった。</p> <p>⑤お客様の「おおさか泉南まるごと商店めぐり」への反応を確認するために、前年に引き続いてお客様アンケートを実施した。</p> <p>実施方法は、各商工会に景品交換に来られたお客様全員にアンケートに記入してもらうという方法をとった。その結果、119名のお客様より回答をいただき、満足した:70名(全体の59%)、お店の対応が良い:85名(全体の71%)、事業を継続してほしい:115名(全体の97%)等、「おおさか泉南まるごと100円商店めぐり」に対する肯定的な意見が多数を占めたため、お客様の反応は良かったと考える。</p>				
	代表指標	100円商店街を通じて店舗のPRができた・売上が増加した・新規顧客を獲得できた・新商品または新サービスを開発したという企業数				
	数値目標	100	実績数値	113	目標達成度	113.0%
	成果の代表事例	岬町の珈琲店では、昨年より来店者数も売上金額も増加し、毎年楽しみにしてくれているお客様もいると喜んでいただけた。				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>①令和2年度から「100円は無理だが、500円または1,000円商品なら用意できるので参加できる」という事業所のため「100円商品を基本とはするが、業種的に無理な事業所は500円または1,000円でも参加OK」とリニューアルして臨んだ結果、参加店数も増えたが、反対に100円・500円・1,000円以外の「お買い得商品」をPRする店舗が減ったので「お買い得商品」をPRすることも啓発していく必要があると考える。</p> <p>②令和2年度は、年が明けてすぐに開催したため、年始休みがまだ続いている店舗もあった。そのため令和3年度は、店舗の休日と寒さ対策も考慮して、昨年より3週間早い年内に実施したが、天候と新型コロナウイルス感染症の影響により、客足が悪かったため、適切な実施日についても検討していきたいと考える。</p>				

岬町商工会

事業名		南泉州地域異業種ビジネス交流会事業								
想定する実施期間		H27 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>泉州地域の4商工会管内(岬町、阪南市、泉南市・熊取町)は、商店街の形成が少なく個々の事業所が散在しているため、集客力に乏しい上に大型スーパーの開業やコンビニエンスストアの進出等により、事業所における売上減少及び雇用縮小が続き4商工会管内は事業所数の減少が続いているのが現状である。また、岬町は関西電力多奈川発電所の完全撤退により地域経済は衰退の一途を辿っている。</p> <p>このような中、大阪府における訪日旅行者(インバウンド)は増加しており、このインバウンド客を4商工会管内地域に誘導し、飲食・ショッピング・宿泊等の経済効果に結び付ける仕組みづくりが課題でありビジネスチャンスでもある。</p> <p>そこで、人員・費用等の問題で新しい事業展開の取組みができない個々の事業所が、地域としての一体感および事業所間の連携を自発的におこなえるようにするために本事業(交流会)を実施する。</p> <p>また、「事業承継」問題のことも考える交流会とし、参加事業者が「事業承継」問題に真剣に取り組み、廃業する事業所の減少および事業承継が円滑にできる事業所を増やすことも目的とする。</p>								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	4商工会管内(岬町、阪南市、泉南市、熊取町)の事業所数合計5,325社(岬町452社、阪南市1,506社、泉南市2,128社、熊取町1,239社)および創業予定者も対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和3年度は、 実施日： 令和3年12月16日(木) 18:00～20:20 実施場所： クリモト淡輪研修センター 支援企業数： 52(岬町25社、阪南市10社、泉南市9社名、熊取町8社) 実施内容： 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策措置(①マスクの着用 ②入場時の手のアルコール消毒 ③入場時の検温→37.5℃以上入場制限 ④セミナーは1人につき1テーブル・前後のテーブル左右交互に座る ⑤意見交換会&ミニ交流会</p> <p>の代わりに「事業承継」のチラシを参加者に配布し事務局より説明した。 ⑥3密防止のために1分間PRは中止した。 ⑦参加は原則として1企業1名 ⑧3密を避けるため人数制限の実施(例年、参加頂いている市町の担当者・日本政策金融公庫等の商工会と関連の深い団体と呼ばなかった。)をしながら次のとおり開催した。 (第1部)セミナー(18時～19時20分) テーマ：「外国人技能実習制度の正しい知識を学ぶために」 講師： 技能実習生関連会社の担当者2名 (第2部) 名刺交換会(19時20分～20時20分) 参加された52社の自社の概要や製品・商品・サービス及び得意分野などの情報を事前に名簿で渡し、参加者全員に大きな文字の見やすい名札をつけてもらい、名刺交換したい事業所を事前に事務局に報告、事務局同士で調整し名刺交換ならびに情報交換をもらった。 例年実施している「1分間PRタイム」は人の密集度が高く3密になる危険性があるため、やむなく中止としたのでこういう形での実施となった。</p>								
		<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。 ②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めた。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>①岬町・阪南市・泉南市・熊取町に後援依頼し、広報誌等で本事業をPRしてもらった。 ②岬町・阪南市・泉南市・熊取町の地方創生及び商工会担当の課にも出席要請をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために出席要請はとり止めた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>「事業継承」問題についての意見交換の代わりにチラシを配布して説明し、事業承継について積極的に取り組む事業所を支援しカルテ化に繋げるよう努力した結果、当商工会でのカルテ化までは行かなかったが、「事業承継のことが少し理解できた」・「事業承継の必要性を感じた」という事業所が各が17件(全体の32%)あったので、事業承継の重要性を認識してくれていることを感じました。</td> </tr> </table>		①府施策連携		②広域連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。 ②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めた。	③市町村連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町に後援依頼し、広報誌等で本事業をPRしてもらった。 ②岬町・阪南市・泉南市・熊取町の地方創生及び商工会担当の課にも出席要請をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために出席要請はとり止めた。	④相談相乗
①府施策連携										
②広域連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。 ②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めた。									
③市町村連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町に後援依頼し、広報誌等で本事業をPRしてもらった。 ②岬町・阪南市・泉南市・熊取町の地方創生及び商工会担当の課にも出席要請をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために出席要請はとり止めた。									
④相談相乗	「事業継承」問題についての意見交換の代わりにチラシを配布して説明し、事業承継について積極的に取り組む事業所を支援しカルテ化に繋げるよう努力した結果、当商工会でのカルテ化までは行かなかったが、「事業承継のことが少し理解できた」・「事業承継の必要性を感じた」という事業所が各が17件(全体の32%)あったので、事業承継の重要性を認識してくれていることを感じました。									

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	52.0	支援実績率	86.7%	満足率	90.4%	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>南泉州地域異業種ビジネス交流会の参加企業は、4商工会の職員の巡回等により52社となり交流会参加の効果においては、「予想以上にあった」20社、「あった」15社で計35社と全体の67.3%を占め、また「少しあった」も11社あった。</p> <p>販路拡大のための必要な取組み(複数回答)としては、「事業所及び製品等のPRができた」が17社(32%)、「他社のビジネス情報の収集ができた」が31社(59%)とコロナ禍にもかかわらず参加企業の約半数以上がそう感じてくれた。</p> <p>また、「事業承継のことが少し理解できた」が17件(全体の32%)、「事業承継の必要性を感じた」が17件(全体の32%)もあり、事業承継の重要性を認識してくれている企業も3分の1いることが分かった。</p>								
	代表指標	自社のPRができた・新たな取組みができた・事業間連携ができた・販路開拓(取扱い商品等のPR)ができたという企業数								
	数値目標	48	実績数値	46	目標達成度	95.8%				
	成果の代表事例	交流会に参加した企業で、1社が実際に他社と連携できるようになった								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点(会場の広さからみて、3密を防ぐことが困難だったため。)から交流会のメインである「1分間PRタイム」は、やむなく中止したため参加者は不完全燃焼だったと思われる。当初は「クリモト淡輪研修センター」より会場が広い「海風館」で開催する予定でしたが、指定管理者不在により運営していなかったため、「クリモト淡輪研修センター」での開催となった。令和4年度は、そういう点も踏まえ、発表者だけ別室からオンラインで発表できる等の設備のある会場を探して、「1分間PRタイム」も実施する予定でいる。詳細については、広域連携の各商工会の担当者会議で検討していく。</p> <p>商工会管内の地域においては、現状の経営基盤の打開のため、事業所での新たな取組み・改革につなげたいと望んでいる経営者は多く、事業所間交流に対する要望も多くある。本事業の実施で岬町のみならず阪南市、泉南市、熊取町地域内の各事業所が他社のビジネス情報および他市町の情報を交流会で交換できる。そして、新たな情報を収集し、新たなネットワークの構築とそれを活用した新事業連携の可能性が生じ、新たな事業へのチャレンジ機運が高まることにより積極的な販路拡大に繋がるような支援を連携している各商工会がしていく。</p>								